



とっとり
県政だより

Tottori Prefectural Newsletter

2023
1

特集 P2

新春座談会 子どもが輝く新しい時代を目指して

P8~10 県政トピックス

- 水と空気が造る極上の純米酒
- 電子アンケート新規会員募集中
- 思いやり消費の推進

DATA

県人口/543,262人
(男 259,881人、女 283,381人)
世帯数/221,644世帯
(2022年11月1日現在推計)

県からの
お知らせ

除雪作業へご協力ください

道路の除雪は、冬季の安全な交通を確保し、日常生活や社会活動を維持するための重要な作業です。ご理解とご協力をお願いします。

- 路上駐車はしないでください
- 沿道の雪は、各家庭での除去をお願いします
- 敷地内の雪を道路に出さないでください
- 道路際の枝や倒木などは、所有者で撤去をお願いします
- 除雪作業時の騒音・振動にご理解をお願いします

☎ 県庁道路企画課 ☎ 0857-26-7619 📠 0857-26-7624



(新春座談会)左からミオ・ファティリティ・クリニック院長 見尾保幸さん、COCON代表 清水愛結さん、鳥取県知事 平井伸治、日本青年会議所中国地区鳥取ブロック協議会会長 万木良平さん、岡山理科大学附属高等学校国際バカロレアディプロマプログラムコーディネーター 森岡明美さん



@tottoripref



@tottori_kouhou



@tottori.pref.kouhou

子どもが輝く新しい時代を目指して



しみず あゆ
清水愛結さん

鳥取大学地域学部2年
COCON代表

商店街で空き店舗を活用した居場所づくり
を行い、地域の多世代交流創出に取り組む



みお やす ゆき
見尾保幸さん

ミオ・ファティリティ・クリニック院長

生殖医療の専門医として最先端の不妊
治療に取り組み、女性の健やかな人生を
サポート

子どもたちは未来を担うかけがえのない宝。その健やかな育ちを支えるために、私たちはどのようなことができるでしょうか。
令和5年、県内では倉吉東高校で山陰初の国際バカロレア教育が始まります。子どもに寄り添い、意見表明をサポートするアドボカシー制度も本格的にスタートします。
子どもが輝く新しい時代に向けて、鳥取県知事とさまざまな分野で活躍される方々が展望を語り合いました。

知事 皆さん、明けましておめでとうございます。今年は新しくことも家庭庁が誕生します。鳥取県は平成22年から「子育て王国とっとり」の看板を掲げ、先進的に子どもたちの支援へ力を注いできました。子どもの未来を拓くのは地域社会の使命。子育て王国の真価を発揮する年にしたいと思います。
見尾 産婦人科医として、体外受精に代表される生殖医療をライフ





ひら い しん じ
平井伸治

鳥取県知事



もり おか あけ み
森岡明美さん

岡山理科大学附属高等学校
国際バカロレアディプロマプログラム
コーディネーター
鳥取市出身。教育学博士。検証的思考法
と言語教育の統合を専門に国際バカロレ
ア教育を推進



ゆる ぎ りょう へい
万木良平さん

日本青年会議所中国地区
鳥取ブロック協議会会長

みんなで赤ちゃんを育む優しい社会を
目指す「ベビーファースト運動」を推進

ワークに取り組んでいます。赤ちゃんが欲しいと願う世界中の人々の夢をかなえるお手伝いをしてきました。

万木 青年会議所で、「ベビーファースト運動」を推進しています。子どもたちに焦点を当て、子育て環境を整えるための空気づくりをしています。

森岡 アメリカと日本の大学の教員を経て、高校の国際バカロレア教育に携わっています。物事を検証的に考える「知の理論」を教えています。

清水 子どもから高齢者まで誰もが集える場所を作りたいという思いから、商店街の空き店舗を活用して、カフェをモチーフにした居場所づくりを行っています。

司会 子どもを取り巻く社会の変化や現状についてお聞きします。見尾さんは妊娠や出産、女性の健康に関する今の状況をどのように感じていますか。

見尾 昨年4月に生殖補助医療の保険適用がスタートし、赤ちゃんを授かるうとするハードルは下がってきました。



命の尊さと体の仕組みの理解を ——— 見尾さん



子どもを望む人の「駆け込み寺」となることを目指して開院したミオ・ファティリティ・クリニック。県西部不妊専門相談センターの運営も担い、妊娠の悩みを持つ人たちを支えている

一方で、妊娠・出産が安易、手軽に考えられているのではないかとという懸念もあります。10代後半から20代前半の生物学的な適齢期から外れるほど、妊娠は難しくなっています。若い世代に向けて女性の体の変化や妊娠の仕組みを啓発していくことが必要だと考えています。

知事 生命の誕生はいわば自然の摂理の中にあるもの。それを大切にしながら、子どもを望むかたに引き合っていくことが重要です。県では未来のパパママとなる高校生に向け、助産師が命や性の知識を伝えたり、人に言えない悩みを聞いたりしています。少子化の進行は、人々の意識や社会環境の変化も一因。地域社会全体で、危機感をもって考えていくべき時期にあると思います。

司会 産業界の立場からは、子育てをしやすい環境づくりについてどのようにお考えでしょうか。

万木 子どもの病気で急に仕事を休むなど、家庭の事情による仕事への影響を周囲が受け入れる風潮はできつつあると感じます。難しいのは経済的・教育的な面。コロナ禍で休みが増え、子どもの学習支援に苦慮するひとり親家庭なども見られました。地域のサポートは十分とはいえません。会社としても一人一人にどれだけ寄り添った対応ができるかは難しいところです。

知事 県では男性の育児休業への支援なども広げながら、子育てを

支える職場環境づくりを応援しています。また、このたびの「鳥取県孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例」は、全国で初めての新しい条例。困り事を抱えた家庭を孤立させず、地域のネットワークで包み込む社会を目指します。課題解決に向け、しっかりと応えていきたいと思えます。

司会 国際化・情報化といった社会の変化は、子どもたちの教育にどのように影響しているでしょうか。

森岡 オンラインで世界中の人と交流できる現代は、コミュニケーションの範囲が広がる反面、価値観の似た人ばかりが集まってしまう難しさもあります。情報を鵜呑みにせず、一度立ち止まって考える教育を小さい頃から始めることが重要です。今は高校生のうちから社会活動への参画や明確な将来ビジョンが求められる時代。大人が将来の多様な可能性を示し、サポートする必要があります。

知事 鳥取県では10年以上前から子どもの適切なICTとの出会いに関する啓発を行ってきました。インターネットの中には偏った情報や



企業や行政が連携し、子どもを産み育ててなくなる社会の実現を目指す「ベビーファースト運動」。鳥取県も昨年5月に参画を宣言

パートナーシップで地域を変える

—— 万木さん



国際バカロレアを倉吉から全県に

—— 森岡さん

危険なわなもあり、特に十分な対応力を持たない若い世代へのサポートは重要と考えています。国際化や情報化は社会的な関心が高いテーマ。倉吉東高校の国際バカロレア認定が、日本と海外の両方の良さを取り入れた鳥取型の教育を作る契機となればと思っています。

司会 若い世代の清水さんは、子どもたちを取り巻く環境の変化をどのように感じていますか。

清水 昨年9月、空き店舗を活用した地域の居場所をプレオープンした際に感じたことは、子どもたちが他者と関わる機会が少なくなっているということでした。多くの子どもたちには、家、学校、児童クラブの3つの世界しかなく、悩みを相談する相手も限られているようです。私たち学生が子どもたちとつながり、もう一つの「第3の居場所」、逃げ場を作つてあげたいと考えています。



国際バカロレアの認定証を手にする県教育委員会足羽教育長(中央)、倉吉東高校福光校長(右)と宋ディプロマプログラムコーディネーター。昨年9月に認定校となり、国際水準の教育プログラムで世界に通用する人材を育成していく



子どもと地域つなぐ居場所づくり

清水さん



特定非営利活動法人ふふやと連携して運営する居場所「COCON」。内装やカフェメニューは全て学生たちの手作り。子どもから高齢者まで誰もが立ち寄れる居場所づくりを目指す



知事 鳥取県には、人口比で沖縄

県に次ぎ2番目に多い子ども食堂
があります。子どもの相談窓口の
機能を持つこうした居場所では、ヤ
ングケアラーなど、福祉の窓口や学
校では見えにくい問題に気付くこ
とができます。また、人間の社会性
をつかさどる脳は、異年齢のコミュ
ニケーションによって発達すること
が分かってきました。子どもたちに
多様な交流を促す活動は非常に重
要であると考えています。

司会 ここからは子どもが輝く未
来づくりへの展望についてお聞きし
ます。見尾さん、妊娠出産の希望が
かない、新しい命が笑顔で迎えられ
る社会が望まれています。

見尾 赤ちゃんを望む多くのかた
の願いがかなうよう、子どものうち
から生殖の仕組みを正しく理解
し、自分自身でライフデザインを描
いていくことが重要です。また、子
どもはコミュニティで育てるもの。多
様な経験を重ねながら伸び伸びと
成長できる地域であってほしいと
願っています。子どもの憧れとなる
大人も減ってきました。大人自身が
子どもの手本となるよう努力し

ていきたいですね。

司会 万木さん、子育てを社会全
体でサポートしていくためには何が
必要でしょうか。

万木 青年会議所には「志を同じ
うする者、相集い、力を合わせ青年
としての英知と勇気と情熱をもつ
て明るい豊かな社会を実現させよ
う」という方針があります。全ての
親にとって、子どもが笑っている社
会が「明るい豊かな社会」のでは
ないでしょうか。志を同じくする行
政や企業、団体が連携し、常に時代
を見据えながら子どもたちのため
に活動することが重要だと思いま
す。

司会 森岡さん、今春、倉吉東高
校は国際バカロレア認定校としてス
タートします。鳥取県の教育や人
材育成への期待をお聞かせくださ
い。

森岡 国際バカロレア教育のコア
(核)となる科目では、知識や情報
について考えること、学問的誠実性
を身に付けること、創造性を持つこ
と、社会のために奉仕することなど
をしっかりと学びます。こうした教育
が倉吉東高校から全県に広がって



子育て王国・鳥取が全国に先行

—— 平井知事

いくことを期待しています。国際バカロレア教育では教員自身にも変化や成長が求められます。これを機に、教育環境がより良いものとなつていくことを願っています。

司会 清水さん、子どもたちの健やかな育ちのためには、さまざまな人が関わり合い、支え合う地域づくりが重要というお話もありました。

清水 私の理想の地域像は「笑い声の聞こえる地域」です。地域全体で子どもを育てる環境を作るために、子どもも大人も気軽に立ち寄れる空間・居場所を作り、子どもたちと地域の人々とのリアルな関係を築いていけたらと思っています。こうした取り組みが他にも広がっていくことを期待すると同時に、私自身も活動を通じて得た知識や経験を、後輩や次の世代につなげていきたいと思っています。

司会 最後に知事から、「子育て王国とっとり」のさらなる飛躍に向けた取り組みや挑戦などについてお願いします。

知事 皆さんのお話を聞き、未来に向けて私たちが取り組むべき課題が見えてきたように思います。大人が子どもたちのモデルとなること、パートナーシップを組むこと、社会に関わる学びを広げること、地域の居場所づくりを行うこと。こうしたことを組み合わせた活動として、例えば琴浦町では商工会青年部が「若旦那商店街」を催し、子どもたちに職業体験を提供しました。多様な人々が互いに協力し、社会と子どもたちとを結ぶ活動が、地域の豊かな未来へとつながっていくのではないのでしょうか。

鳥取県は子育て施策のパイオニアとして次々と子育て対策を展開し、出生率向上や若い世代の移住へ

つなげてきました。ようやく国も子ども家庭庁を設け、国の子育て政策も再編成される方向となりました。子育て王国鳥取県も全国の先を行く子育て支援をさらに進めていかなければなりません。例えば産後ケアの充実などもその一つ。子どもが発言することができる社会に向けた「アドボカシー」も今年本格的に実施していきます。保育や居場所づくりなど、地域にはさまざまな課題もありますが、市町村や関係の皆さんと一緒に「子どもたちの笑顔」が生まれてくるような鳥取県を作っていきたいと思っています。

『正月の子どもに成りてみたき哉』
小林一茶が、お正月の無邪気な子どもたちの姿を見つめて詠んだ句です。お正月だけではなく、私たちは子どもたちがいろいろな人と出会い、笑顔があふれるような喜びを作っていかなければなりません。子どもが元気に、幸せになれば、キッド(KID)地域も良くなると思います。

司会／鳥取県子育て・人財局長

中西朱実



とっりの地酒で乾杯!

～水と空気が造る極上の純米酒～



鳥取県には現在、18の日本酒蔵があります。各蔵が造る日本酒は個性豊かな味わいが持ち味。澄み切った水と空気をそのまま伝えます。新年は地元の素材を使ったおいしい料理と一緒に極上の純米酒を楽しみながら、鳥取の魅力を味わい尽くしましょう。

生き様伝える生きもと醸造り

鳥取の酒蔵は米と水だけで仕上げる「純米酒」の製造割合が高いのが特徴。中でも、伝統的な酒造りの方法である「生醸造り」に取り組む蔵が多くあります。

生醸造りとは、自然にある乳酸菌の力を利用して、酵母が活動しやすい状態を作り、アルコール発酵を促進する昔ながらの製法。「造る人の生き様や空気、各蔵の味が出る」と、鳥取市の老舗酒屋、谷本酒店社長の谷本暢正さんは生醸造りの魅力を語ります。

失敗するリスクが高く、手のかかる生醸造りに多くの酒蔵が取り組むのは、酒造技術指導の第一人者として知られる上原浩さん(1924～2006年)の存在が多大な影響を与えています。

鳥取県オリジナル酒米「ごうりき強力」

鳥取県固有の酒米「強力」は大山山麓が発祥とされる在来種。栽培が難しい品種のため、昭和30年代に一度途絶えましたが、酒蔵や農家の尽力で約30年前に復活しました。「強力をはぐくむ会」が立ち上がり、ブランドを守っています。



粒が大きく、酒造りに最適な「線状心白(※)」なのが特徴。蔵によって異なる強力の味わいを、ぜひ飲み比べてみてください。

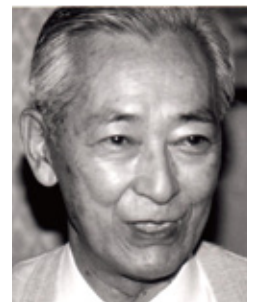
※心白…米の中心部にある白く不透明な部分

背が高く倒れやすい強力米の稲



精米歩合や酵母の違いで蔵ごとの個性が楽しめる「強力」

地酒が持つ可能性



純米酒製造を呼び掛け、鳥取の酒造りの道筋を示した上原浩さん(家族提供)

鳥取県工業試験場勤務を経て、県酒造組合連合会技術顧問、蔵元交流会常任顧問、日本酒サーブス研究会最高技術顧問を務めた上原さん。漫画『夏子の酒』に登場する酒造技術者・上田久のモデルとしても知られます。

「酒は純米、爛かたならなお良し」という名言で知られ、「淡麗辛口」が主流だった当時の業界で「芳醇旨口」の純米酒と、爛に耐えられる「味吟醸」造りを呼び掛けました。

親交のあった谷本さんは「もこの本質を大切にしてほしいというのが上原先生の思い。地域性が出る純米酒を造ることが人を引き寄せ、鳥取の個性を伝えることにつながります」と、地酒の持つ可能性に期待を寄せます。

2020年から全量生醸造
りに取り組む久米桜酒造(伯
耆町丸山)で指揮を執るのは、
神奈川県出身の杜氏、三輪智
成さん。鳥取県の「野性味」を
生かした、この土地ならではの
酒造りを目指します。

アパレル会社経営や証券会
社勤めなど異色の経歴を持つ
三輪さんは、同僚の出身地だっ
た米子を訪れ、山と海が近い自
然豊かな環境に魅せられて移
住を決めました。曇りの多い山
陰のアンニュイ(気だるい)な空



室内気温を32℃に保つ麹室。種麹を振りかけて床もみした蒸し米を、約30時間置いて麹を造る＝伯耆町丸山

自然に向き合う酒造り

杜氏 三輪智成さん

気に、都会で疲れていた心と体
がいつの間にか癒やされたとい
います。

酒造りの世界に飛び込んだ
のは10年前。大山の麓に位置す
る醸造場で採れる軟水の伏流
水と、同じ水で育てた半径3キ
ロ圏内の無農薬・無肥料の自社
田の米や八郷地区の米を使い、
400年前から伝わる生醸造
りに挑戦してきました。

日本酒造りに欠かせない酒
母(酵母)を生醸造りで育てる
には、天然の乳酸の生成を促す
ために米をすりつぶす「酏(もと)
り」作業が必要。酒母室では窓
を全開にして、野生の菌を取り
込みます。人工の乳酸を添加
する「速醸」の製法と比べると、
約2倍の35日以上期間を要
します。

気温や米の出来栄でも仕
上がりが左右される繊細な酒
造りですが、「必ずしもおいし
い酒、売れる酒を造ら
うとは思っていない」

その土地らしさを表現し、
田園風景を守る酒を造ること

が、酒蔵の本質だ」と思いを語
ります。

酒のラベルにもこだわり、自
作の版画やイラストレーター
の作品など斬新なデザインを
採用。対照的に昔ながらの技
法を大切に受け継ぐ酒造り
は、移住者の視点で捉えた鳥
取の自然体の魅力を引き出
し、伝えていきます。



三輪さんが集めた山陰の酒器。酒器の形状や質感で、お酒の味わいも変わります



米子市出身のイラストレーター、
マツダケンさんによる十支のラベル

▶▶ 問 県庁販路拡大・輸出促進課

☎0857-26-7259 F 0857-21-0609

✉ hanro-yusyutsu@pref.tottori.lg.jp <https://www.pref.tottori.lg.jp/178246.htm>





スマホで手軽に県政参画

～電子アンケート新規会員募集中～

新規会員募集キャンペーン

2月15日(水)までに新規会員登録を行った人には、1,000円分の図書カードをプレゼント!

- ・先着500名限定。現在会員の人や会員でなくなってから1年が経過していない人は対象外です
- ・図書カードは4月以降に発送します

会員資格	<ul style="list-style-type: none"> ・満16歳以上(応募年度末時点) ・県内に在住または通勤、通学 ・インターネットが利用可能 ・日本語で電子メールのやりとりが可能 ・常勤の鳥取県職員、鳥取県議会議員ではない
任期	会員登録の日から登録年度末まで(5年間は自動更新)
調査回数	年15回程度(1回の調査の設問数は10問前後)
活動謝礼	図書カード(回答数に応じて金額アップ)

登録・詳細はウェブページをご覧ください。



県庁県民参画協働課

☎0857-26-7026 ☎0857-26-8112

✉kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/enquete/>



県の施策に対して思いを伝える「県政参画電子アンケート」の新規会員を募集しています。皆さんの声をぜひ県政に届けてください。

県民生活に深く関わる制度や重要な課題などの検討に当たっては、広くさまざまな意見が必要となります。県では、県民の皆さんの意向を速やかに把握するため、登録会員を対象にインターネットを通じたアンケート調査を行っています。例えば今年度は、県民の防犯意識

をテーマとした調査を実施。普段の防犯対策や子どもの安全確保、被害者支援の取り組みなどへの意見をいただき、「犯罪のないまちづくり推進計画」の改定に活用しています。

登録や回答は、スマートフォンから手軽に可能。現在、新規会員登録者には、期間限定で図書カードを贈呈するキャンペーンを実施中です。この機会にぜひ、会員登録してみませんか。あなたの意見が、より良い地域づくりにつながります。



みんなが笑顔になれる買い物を

～思いやり消費の推進～

思いやり消費(エシカル消費)とは

環境や社会に優しい消費には、さまざまな種類があります。できることから思いやり消費を実践してみましょう。

〈環境のために〉

- ・エコマークや認証ラベルが付いた商品を買う
- ・エコバッグを持参し、食品ロス削減のために消費期限の近い商品を購入

〈人や社会のために〉

- ・フェアトレード商品を買う
- ・障がいのある人たちが作った商品を買う

〈地域のために〉

- ・地元の生産品を地元で消費する「地産地消」
- ・地域の店や商店街などで買い物を



エシカル

買い物をするとき、商品やサービスの「向こう側」を考えてみませんか?

環境や人、社会、地域に優しい商品を選ぶ買い物の仕方。「エシカル(倫理的な、道徳的な)消費」と呼びます。鳥取県ではこれを「思いやり消費」として、皆さんに呼び掛けています。

例えば、開発途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引するフェアトレード認証マークの付いた商品

を購入することは思いやり消費に当たります。生産者・労働者の生活改善と自立を目指す仕組みなので、マーク付き商品を選ぶことで間接的に支援できます。

必要なものを必要な量だけ買うことや、地元で生産されたものを消費する「地産地消」も、誰もが実践しやすい思いやり消費の一つ。一人一人が意識することが、社会を大きく変える力となります。



県消費生活センター

☎0859-34-2765 ☎0859-34-2670

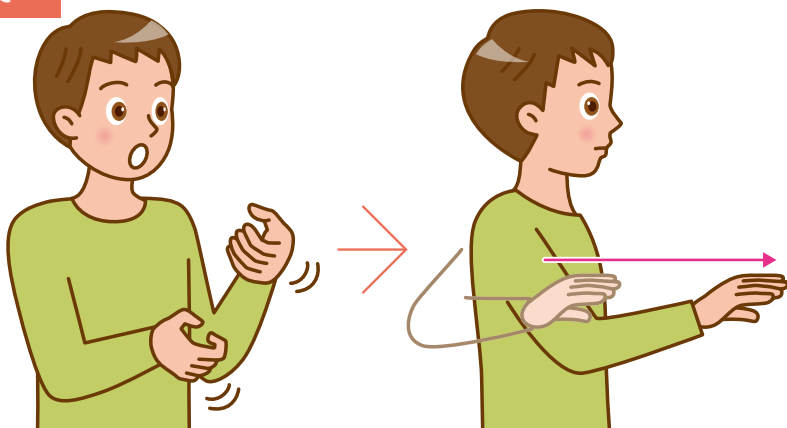
✉shohiseikatsu@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/255487.htm>





手話を覚えてみよう ▶▶ 「消防車」



丸めた両手の手のひらを上に向けて前後に並べて振り動かし

右手親指と4指を平行に伸ばし、前へ出す

「自分たちの地域は自分たちで守る」。地域のために活動する消防団員を募集しています。団員はそれぞれ職業を持ちながら、火災などの災害が発生した時にはすぐに出動。住民の安心・安全を守ります。

県消防ポンプ操法大会は、消防団員に必要な技術の向上などを目指して開催されています。消防ポンプ自動車を使用した部門と、持ち運び可能な小型動力ポンプを使用した部門があります。火災現場で迅速かつ的確に対応するために身に着けた日頃の訓練の成果を、ぜひ見に来てください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/306248.htm>



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

☎0859-30-3720 F 0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>

読者の声

(11月号の意見・感想から)

- 若者が移住者視点で魅力を発信し、より豊かな鳥取県になってくれることを期待します!(40代)
- 言いたいことがなかなか言えない子どものために、第三者が意見を聞く事が大事だと思います。(70代)
- 子どもや孫の代のため、「エコエコ～」と口ずさみながらごみ削減を心がけています。(60代)
- ブラジルとの交流でしゃんしゃん傘踊りが行われているのはとても良いことです。いつまでも続けてほしいです。(70代)
- さばのミルクみそ煮を作りました。青魚は苦手ですが、柔らかい味になってパクパク食べることができました。(50代)



11月号には1,123人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



県産品プレゼント

「かるやちくわセット」(10点入り)【5名】

濃厚な味わいの「あごちくわ」、自家製豆腐と魚のすり身を合わせて蒸した「とうふちくわ」、焼いて香ばしい「とうふのやき」、控えめな甘さが人気の「鯛ちくわ」、魚肉をたっぷり使った「天ぷら」が2点ずつ入ったセット。職人の手仕事で、確かな味を生み出しています。



問 かるや商店(鳥取市元魚町) ☎0857-22-3914 F 0857-24-0281



クイズ

環境や人に優しい商品を選ぶ買い物を「エシカル消費」と呼びますが、鳥取県では「〇〇消費」と言い換えています。〇に入るのは次のうちどれでしょう

ヒントは10頁

- ①思いやり ②まごころ ③トリピー

【応募方法】

クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

■応募締め切り 1月20日(金)必着



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブページ応募フォーム <https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>

12月号のクイズの答えは「③伝道師」でした。

[材料](4人分)

白	抹茶	ごま
●牛乳……200ml	●牛乳……200ml	●牛乳……200ml
●片栗粉……大さじ3	●片栗粉……大さじ3	●片栗粉……大さじ3
●砂糖……大さじ1	●砂糖……大さじ1	●砂糖……大さじ1
	●抹茶……小さじ1	

【A】	●きな粉……大さじ1	【B】	●黒ごま……大さじ4
	●砂糖……小さじ1		●砂糖……大さじ2
	●塩……少々		●塩……少々

[作り方]

- 鍋に牛乳、片栗粉、砂糖を入れて木べらでよく混ぜ、火にかける。抹茶もちの場合は抹茶も加える。
- 湯気が出るまでは強火で混ぜ、少し塊が出来てきたら中火にして2～3分混ぜ続ける。
- 白もちと抹茶もちは、それぞれ【A】を敷いたバットに②を流し込み、その上に【A】をふり、ヘラなどで器に取り分ける。ごまもちの場合、【B】をすり鉢ですり合わせてバットに敷き、同様にする。

冷めてもおいしい!



Milk Recipe

みるくもち(3色)

【協力】大山乳業農業協同組合

県からのお知らせ

第31回 心の健康フォーラム 配信中

コロナ禍で感じる不安や孤独は、私たちの心身の健康に大きな影響を与えることがあります。困難な状況の中で心の健康を保つ方法について、福島原発事故からの回復に学びます。ぜひご視聴ください。

【講演】コロナ禍のメンタルヘルス ～災害と心のケア～

講師：鳥取県立医科大学医学部災害こころの医学講座
主任教授 前田正治氏

■申込方法/1月20日(金)までにウェブまたはファクシミリで申し込み

■配信期間/2月10日(金)午後5時まで

※詳細はウェブページをご確認ください。

問 県立精神保健福祉センター

☎ 0857-21-3031 ☎ 0857-21-3034

<https://www.pref.tottori.lg.jp/seishincenter/>



県職員給与の状況を公表中

県職員の給与は、県人事委員会が一般家庭の生計費や民間事業所・国などの給与を考慮して行う勧告を踏まえ、県議会の審議を経て条例で定められます。2022年4月1日現在は下表のとおりです。

詳細はウェブページで確認できます。

(出典：県人事委員会報告資料)

区分	平均月額	平均年齢
県職員	344,977円	42.9歳
県内民間事業所	346,146円	-

問 県庁人事企画課

☎ 0857-26-7418 ☎ 0857-26-8140

<https://www.pref.tottori.lg.jp/307961.htm>



60歳以上の健康で働く意欲のある皆さん
あなたの豊富な知識・経験・技能を地元の
シルバー人材センターで活かしませんか!?

厚生労働省鳥取労働局委託事業 「高齢者活躍人材確保育成事業」

シルバー人材センター

会員募集中!!

入会申込、お問合せは
あなたの町の
シルバー人材センターへ



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会
TEL.0859-37-2531 FAX.0859-37-2537

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地
URL <https://www.torisilver-ren.com>



※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。